

## 清 少納言

世界最古の随筆「枕草子」の著者として超有名！彼女の歌は百人一首にもあるよ。

今回は彼女に視点をあてちゃおう！ 参考文献:「趣味どきっ！恋する百人一首(NHK テレビテキスト)」

夜をこめて 鳥のそらねは はかるとも  
よに逢坂の 関はゆるさじ  
百人一首より

夜が明けないうちに、鶏の鳴き声でだまそうと  
しても、函谷関の関ならともかく、逢坂の関は  
そうは許さないわよ。  
私、あなたとは決して逢わないわよ。

函谷関の関：中国にあつた交通の要衝で多くの戦  
いの舞台となり、鶏鳴狗盗といふ故事も生まれた。  
史記「これだけの教養を盛り込んだ歌を即座に返  
すほど、ずば抜けた知性を持つ清さん。」

### 「枕草子」発売！

重版に続く重版。今年の本屋  
大賞決定か。(長保三年)

著者の清によると、「私のパ  
パはね、「後選和歌集」の編集とか  
にかかわってたし、ひいじい  
ちゃんなんか有名な歌人なわけよ。  
それで超プレッシャーなのよ、和  
歌を詠むのはね。だからちやっ  
ちやとエッセーとか書いてみたの。  
毎日宮中で、帝の奥様の中宮定子  
様のブレインやっていると、いろ  
んなことが起こるわけ。でね、思  
いついたことをあれこれ書いて  
みたの。そしたらこれがうけちや  
つてさ。特に宮中の女御・更衣・  
女房たちには大反響をよんでる  
わ。」

清は明るく知的、祭り見物に行っ  
た時、牛車が遅れたら裸足で駆け出  
して見に行くほどミーハーなところ  
もある。

### ネタバレ枕草子

#### 一 いい女の条件はキャリアと教養

夫にひたすら従っているような生き方は面白くな  
いでしょ？宮中でお仕事すると見聞が広くなるわ。  
何しろ話す相手がエリートばかり。宮仕えする女を  
嫌う男もいるけど、そんな男は度量が狭い！

#### 二 心ときめくのはどんなとき？

雀の子を飼っているとき、上等のアロマを使って  
寝そべっていると、恋人が来てくれるかなって待っ  
てる夜に雨の音がしたり、風で戸がガタッと鳴った  
りしたとき。

#### 三 バタバタ帰る男はイヤ

烏帽子の紐をギョツと結んで頭に据えて、枕元に  
置いた扇子とかを「どこだどこだ」ってそこら一面  
叩き回って探し、「失礼します」なんて言っ出てい  
く奴って、ほんと最低の男よね。

#### 四 口のうますぎる男には「用心

男って、心にもないことを言っ女をだますんだ  
から、油断ならないわ。しかも評判のいい奴ほどだ  
ましてることを女にきづかせないほど上手よ。  
そんな男の口車にのせられないで。あなたの悪口  
をほかの女の前で言ってるのよ。勘違いしちゃだめ  
よ。

#### 五 デートが盛り上がる季節は？

デートに一番いい季節は、まず夏でしょ。それは、夜が短くて  
あつという間に明けてしまい、寝る暇もなく終わっちゃうから。  
でも、まだ語りたくて二人でぐずぐずしていると、空をカラスがか  
あかあと鳴きながら通り過ぎ、逢引がばれてしまったみたく感じ  
るのもおもしろいわね。

でも冬もすてがたいわ。寒くて布団をすっぽりかぶって寝てる  
とね、お寺の鐘がまるで何かの底で鳴ってるみたく聞こえるのが  
すてき。

#### 六 悲しいことは敢えて書かない

明るく華やかな後宮生活を書いているんだから、定子様に起きた  
悲しいできごとは、ほんの一行でいいのよ。  
悲しいできごとは…定子様のパパが亡くなって、兄・弟が叔  
父の藤原道長との政争に敗れて、島流しにされたの。それで定子  
様は後ろ盾を失い、孤立無援になっちゃったの。  
「世の中に事出て来、さわがしうなりて」

南高に赴任して競技かる  
たの部活を受け持ち、毎日の  
ように百人一首と接してい  
ると、自然と古典の世界にも興  
味を持つようになってきた。  
1000年以上も前の日本人女  
性がキャリアのことを考えて  
いたなんてびっくり！そして  
日本人の識字率って昔から  
高かったのかなあと、  
感慨もひとしお。

それにしても、当時は歌の  
才能がないと恋愛もままなら  
なかったんだね～。